



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月1日  
東

上場会社名 山陽特殊製鋼株式会社 上場取引所  
 コード番号 5481 URL <https://www.sanyo-steel.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 勝弘  
 問合せ先責任者(役職名) 財務部長 (氏名) 柳本 豊 TEL 079-235-6004  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	294,392	9.3	20,432	41.8	20,691	42.3	14,760	45.3
2022年3月期第3四半期	269,337	81.1	14,411	—	14,541	—	10,156	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 16,095百万円( 34.0%) 2022年3月期第3四半期 12,008百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	270.91	—
2022年3月期第3四半期	186.40	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	393,767	209,451	52.7
2022年3月期	377,911	198,845	52.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 207,508百万円 2022年3月期 196,994百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2023年3月期	—	55.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	35.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	387,000	6.5	22,000	2.7	22,000	1.6	16,000	4.8	293.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	54,507,307株	2022年3月期	54,507,307株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年3月期3Q	21,336株	2022年3月期	19,566株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	54,487,042株	2022年3月期3Q	54,489,419株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。(業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。)

## 【添付資料】

### (目次)

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
参考資料	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期(2022年4月1日～2022年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和される中、総じて持ち直しの動きがみられました。景気の先行きにつきましては、感染対策により経済社会活動の正常化が進む中、景気の持ち直しが続くことが期待されるものの、世界的な物価高騰や金融引締めによる海外景気の下振れ等がわが国経済に与える影響が懸念されるなど、不透明な状況にあります。

特殊鋼業界におきましては、半導体不足や中国の都市封鎖に伴うサプライチェーンの混乱を受けた自動車減産の継続に加え、堅調に推移していた建設・産業機械向けの需要が調整局面に入るなどにより、特殊鋼熱間圧延鋼材の生産量は、前年同期を下回りました。

このような中、当社グループの売上高は、スウェーデンの連結子会社Ovakoの決算期変更影響(注)や自動車減産の影響はありましたが、鉄スクラップサーチャージの適用等に伴う販売価格の上昇などにより、前年同期比250億54百万円増の2,943億92百万円となりました。利益面では、鉄スクラップをはじめとする原燃料価格の上昇やOvakoの決算期変更影響はありましたが、鉄スクラップサーチャージの適用等に伴う販売価格の上昇や構成の高度化によるマージンの改善、一過性影響を含むOvakoの収益改善などにより、経常利益は、前年同期比61億50百万円増の206億91百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比46億4百万円増の147億60百万円となりました。

(注) 2022年3月期よりOvakoの決算期を従来の12月から当社単独と同じ3月へ変更し、同社は2021年1月～2022年3月の15ヵ月決算を行いました。これにより、前年同期の連結決算値には、2021年1月～12月期の同社損益およびのれん償却費を織り込んでおり、そのうち、2021年1～3月期の同社損益(売上高303億83百万円、経常利益25億29百万円)およびのれん償却費▲6億72百万円を決算期変更影響としております。

当第3四半期損益の概要(2022年4月1日～2022年12月31日)

(単位:千t、億円、円/株)

	当第3四半期	前年同期	差引増減	増減率(%)
売上数量	1,210	1,542	-331	-21.5
(内、当社単独)	681	763	-82	-10.7
(内、Ovako)	451	691	-240	-34.8
(内、SSMI)	78	88	-9	-10.8
売上高	2,944	2,693	+251	+9.3
(内、当社単独)	1,462	1,231	+231	+18.8
(内、Ovako)	1,267	1,293	-26	-2.0
(内、SSMI)	158	123	+35	+28.2
営業利益	204	144	+60	+41.8
(内、当社単独)	79	69	+10	+14.7
(内、Ovako)	139	89	+50	+55.8
(内、SSMI)	▲1	6	-6	—
(内、のれん償却費)	▲22	▲27	+5	—
経常利益	207	145	+62	+42.3
(内、当社単独)	95	75	+20	+26.4
(内、Ovako)	139	86	+53	+61.2
(内、SSMI)	▲4	3	-7	—
(内、のれん償却費)	▲22	▲27	+5	—
税後利益(注4)	148	102	+46	+45.3
1株当たり税後利益	270.91	186.40	+84.51	+45.3
のれん償却費を除く営業利益	226	171	+55	+32.2
のれん償却費を除く経常利益	229	172	+56	+32.7
のれん償却費を除く税後利益	169	129	+41	+31.8
のれん償却費を除く1株当たり税後利益	310.94	235.84	+75.10	+31.8

(注1) 金額は億円未満を四捨五入しております。

(注2) 前年同期のOvakoの売上数量および損益、のれん償却費は、2021年1～12月実績を織り込んでおります。

- (注3) Mahindra Sanyo Special Steel Private Limited (MSSS)は、2022年6月23日付でSanyo Special Steel Manufacturing India Private Limited (SSMI)に商号変更しております。
- (注4) 親会社株主に帰属する四半期純利益。

セグメント別の売上高および営業損益の状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

#### 鋼材事業

当第3四半期の売上高は、Ovakoの決算期変更影響や自動車減産の影響はありましたが、鉄スクラップサーチャージの適用等に伴う販売価格の上昇により、前年同期比224億73百万円増の2,820億53百万円となりました。営業利益は、原燃料価格の上昇やOvakoの決算期変更影響はありましたが、鉄スクラップサーチャージの適用等に伴う販売価格の上昇や構成の高度化によるマージンの改善、一過性影響を含むOvakoの収益改善などにより、前年同期比57億89百万円増の191億67百万円となりました。

#### 粉末事業

当第3四半期の売上高は、自動車減産や一部の電子材分野向けの需要減の影響はありましたが、産業機械向けの売上数量増加などにより、前年同期比6億3百万円増の39億35百万円となりました。営業利益は、売上数量の増加や合金サーチャージの適用等に伴う販売価格の上昇などにより、前年同期比1億89百万円増の8億11百万円となりました。

#### 素形材事業

当第3四半期の売上高は、自動車減産の影響はありましたが、鉄スクラップサーチャージの適用等に伴う販売価格の上昇などにより、前年同期比15億16百万円増の149億20百万円となりました。営業利益は、鉄スクラップサーチャージの適用等に伴う販売価格の上昇によるマージンの改善はありましたが、売上数量の減少や鉄スクラップ等の原燃料価格の上昇などにより、前年同期比9百万円減の3億42百万円となりました。

#### その他

子会社を通じて情報処理サービスを行っており、当第3四半期の売上高は前年同期比2億26百万円増の9億68百万円、営業利益は前年同期比21百万円増の24百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産残高は、原燃料価格の上昇等に伴う棚卸資産の増加などにより、前期末比158億56百万円増の3,937億67百万円となりました。負債残高は、コマーシャル・ペーパーの増加や仕入債務の減少などにより、前期末比52億50百万円増の1,843億16百万円となりました。純資産残高は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前期末比106億5百万円増の2,094億51百万円となりました。この結果、当第3四半期末におけるD/Eレシオ(純資産残高に対する有利子負債残高(現預金および関係会社預け金残高控除後)の割合)は0.36(前期末は0.30)となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後につきましては、半導体不足等による自動車減産やそれに伴うサプライチェーンでの在庫調整影

響に加えて、インフレによる世界経済への影響が懸念されるなど、当社グループの事業環境は厳しい状況が続くと想定されます。エネルギー価格等原燃料価格の上昇に対しましては、サーチャージの適用拡大やコストダウン等の対策を講じ、収益の確保を目指してまいります。

2022年10月31日に公表した2023年3月期の業績予想につきましては、一過性影響を含むOvakoのマージンの改善などをふまえ、次のとおり修正いたしました。

2023年3月期業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位:千t、億円、円/株)

	今回予想	前回予想	増減
売上数量	1,585	1,599	-14
(内、当社単独)	894	881	+13
(内、Ovako)	586	603	-17
(内、SSMI)	105	115	-10
売上高	3,870	3,850	+20
(内、当社単独)	1,930	1,890	+40
(内、Ovako)	1,630	1,630	—
(内、SSMI)	216	242	-26
営業利益	220	196	+24
(内、当社単独)	90	88	+2
(内、Ovako)	141	121	+20
(内、SSMI)	2	4	-2
(内、のれん償却費)	▲29	▲29	—
経常利益	220	200	+20
(内、当社単独)	105	105	—
(内、Ovako)	140	120	+20
(内、SSMI)	▲2	0	-2
(内、のれん償却費)	▲29	▲29	—
税後利益(注2)	160	146	+14
1株当たり税後利益	293.65	267.95	+25.70
のれん償却費を除く営業利益	249	225	+24
のれん償却費を除く経常利益	249	229	+20
のれん償却費を除く税後利益	189	175	+14
のれん償却費を除く1株当たり税後利益	346.87	321.18	+25.69

(注1) 金額は億円未満を四捨五入しております。

(注2) 親会社株主に帰属する当期純利益。

また、上記業績予想の修正に伴い、2022年10月31日に公表した2023年3月期の配当予想を次のとおり修正いたしました。

	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想(2022年10月31日公表)		30.00	85.00
今回修正予想		35.00	90.00
当期実績	55.00		
前期実績(2022年3月期)	45.00	45.00	90.00

(注) 業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて当社グループで判断したものであります。予想には、様々な不確定要素が内在しており、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があることをお含みおきください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,483	20,766
受取手形、売掛金及び契約資産	69,019	67,635
電子記録債権	8,706	13,659
商品及び製品	26,761	32,399
仕掛品	58,088	58,813
原材料及び貯蔵品	28,661	35,661
未収還付法人税等	17	72
関係会社預け金	7,924	4,595
その他	7,196	4,040
貸倒引当金	△356	△447
流動資産合計	220,503	237,195
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	70,916	67,465
その他(純額)	41,058	45,384
有形固定資産合計	111,974	112,850
無形固定資産		
のれん	33,284	32,211
その他	4,102	3,713
無形固定資産合計	37,386	35,924
投資その他の資産	8,046	7,796
固定資産合計	157,407	156,571
資産合計	377,911	393,767
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,425	40,571
短期借入金	37,673	37,822
コマーシャル・ペーパー	12,001	32,999
未払法人税等	5,475	3,888
賞与引当金	2,167	1,158
環境対策引当金	3	3
その他	23,490	25,248
流動負債合計	130,237	141,692
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	19,324	17,815
役員退職慰労引当金	68	51
債務保証損失引当金	1	0
環境対策引当金	206	155
退職給付に係る負債	12,165	8,183
その他	7,063	6,417
固定負債合計	48,828	42,623
負債合計	179,066	184,316

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,800	53,800
資本剰余金	51,486	51,486
利益剰余金	85,732	95,045
自己株式	△28	△31
株主資本合計	190,991	200,299
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,382	1,592
繰延ヘッジ損益	2,134	△835
為替換算調整勘定	4,119	4,957
退職給付に係る調整累計額	△1,633	1,495
その他の包括利益累計額合計	6,003	7,208
非支配株主持分	1,850	1,942
純資産合計	198,845	209,451
負債純資産合計	377,911	393,767



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	269,337	294,392
売上原価	225,909	245,808
売上総利益	43,427	48,584
販売費及び一般管理費	29,016	28,151
営業利益	14,411	20,432
営業外収益		
受取利息	90	113
受取配当金	123	149
為替差益	7	455
受取賃貸料	350	214
その他	208	236
営業外収益合計	780	1,169
営業外費用		
支払利息	478	731
その他	172	178
営業外費用合計	650	910
経常利益	14,541	20,691
特別利益		
固定資産売却益	42	246
投資有価証券売却益	92	4
特別利益合計	134	250
特別損失		
固定資産除売却損	127	283
関係会社整理損	90	28
投資有価証券評価損	0	—
特別損失合計	218	312
税金等調整前四半期純利益	14,457	20,630
法人税、住民税及び事業税	3,664	5,714
法人税等調整額	453	265
法人税等合計	4,118	5,979
四半期純利益	10,338	14,650
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	182	△110
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,156	14,760

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	10,338	14,650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△235	209
繰延ヘッジ損益	475	△2,970
為替換算調整勘定	1,594	897
退職給付に係る調整額	△215	3,129
持分法適用会社に対する持分相当額	50	178
その他の包括利益合計	1,669	1,444
四半期包括利益	12,008	16,095
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,751	15,966
非支配株主に係る四半期包括利益	257	128

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鋼材	粉末	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	252,546	3,331	13,403	269,280	57	269,337	—	269,337
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,034	—	—	7,034	684	7,718	△7,718	—
計	259,580	3,331	13,403	276,314	741	277,056	△7,718	269,337
セグメント利益	13,377	621	351	14,350	3	14,353	58	14,411

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鋼材	粉末	素形材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	275,396	3,935	14,919	294,251	141	294,392	—	294,392
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,657	—	0	6,657	827	7,484	△7,484	—
計	282,053	3,935	14,920	300,908	968	301,877	△7,484	294,392
セグメント利益	19,167	811	342	20,320	24	20,344	87	20,432

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない情報処理サービス事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 参考資料

## 2023年3月期 第3四半期決算発表

## 1. 当第3四半期の業績と業績予想

(単位：千t、億円、%)

	当第3四半期 (実績)	前第3四半期 (実績) (※2)	増減	増減率	業績予想 (※1)
					通期
売上高	2,944	2,693	251	9.3	3,870
(内、当社単独)	1,462	1,231	231	18.8	1,930
(内、Ovako)	1,267	1,293	△26	△2.0	1,630
(内、SSMI)	158	123	35	28.2	216
営業利益	204	144	60	41.8	220
経常利益	207	145	62	42.3	220
(ROS)	(7.0)	(5.4)	(1.6)		(5.7)
(内、当社単独)	95	75	20	26.4	105
(内、Ovako)	139	86	53	61.2	140
(内、SSMI)	△4	3	△7	—	△2
(内、のれん償却費)	△22	△27	5	—	△29
親会社株主に帰属する 当期純利益	148	102	46	45.3	160

売上数量	1,210	1,542	△331	△21.5	1,585
(内、当社単独)	681	763	△82	△10.7	894
(内、Ovako)	451	691	△240	△34.8	586
(内、SSMI)	78	88	△9	△10.8	105
設備投資	85	92	△7	△7.2	140
減価償却費	103	123	△20	△16.5	145

(※)1. 予想(1月以降)の主要前提：鉄スクラップ(姫路地区H2市況) 50.0千円/t、原油(ドバイ)90\$/BL、為替 130円/\$、140円/€  
2. 前第3四半期のOvakoの売上数量および損益、のれん償却費は、2021年1~12月実績を織り込んでおります。

(参考) 四半期業績推移

(単位：千t、億円、%)

	2022年3月期					2023年3月期		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	通期	4-6月期	7-9月期	10-12月期
売上高	1,106	727	860	939	3,633	1,041	914	990
営業利益	85	19	40	70	214	88	44	73
経常利益	85	20	40	71	217	93	44	70
(ROS)	(7.7)	(2.8)	(4.7)	(7.6)	(6.0)	(8.9)	(4.9)	(7.0)
親会社株主に帰属する 当期純利益	61	12	29	51	153	69	30	49

## 2. 当第3四半期の経常利益増減要因 (対前年同期)

(単位：億円)

増 益 要 因		減 益 要 因	
1. 販売価格・構成	303	1. 原燃料価格	210
2. 単独営業外損益	10	2. 諸資材・外注・物流費等	31
3. 変動費コストダウン	3	3. 販売数量	29
4. Ovako経常利益	78	4. 固定費	15
		5. 修繕費	11
		6. 連結子会社経常利益等	18
		7. Ovako決算期変更影響	18
計 (A)	394	計 (B)	332
		差引 (A) - (B)	62